

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	15	議員名	三島明	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
1	松江カントリー跡地の太陽光発電事業について		(1) 松江カントリー跡地で計画されている太陽光発電施設は、本年11月に着工予定であった。この発電施設は着工時期を2年延期し、2027年中の着工を目指すということである。延期となった理由を、松江市としてはどう把握しているのか伺う。				
			(2) 6月に可決された条例に従うと、この太陽光発電施設は中規模発電事業に相当し、300mの範囲内を近隣区域とし、その中にある土地や建物の所有者等が「地域住民等」ということで事業者が説明の義務を果たすべき対象となる。さらに、近隣区域をその区域に含む町内会・自治会の区域に居住する者も「地域住民等」に該当する。今後、事業者に住民説明の義務が生じる「地域住民等」にあたる300mの範囲の中に区域を含む町内会・自治会は具体的にどこになるのか伺う。				
			(3) 「地域住民等」に該当しない方は、事業者側に説明の義務まではない。だが、もし説明を聞きたい方がおられた場合、その方は聞くことができないのか。そうなると、300mの範囲を見直し、もっと広範囲に広げる必要があるのではないだろうか。それとも「発電事業の実施に伴い生活環境に影響を受けると市長が認める者」として、そういった方々が該当するのか市の見解を伺う。				
			(4) 8月27日、政府は使用済み太陽光パネルのリサイクル義務化を断念する方針を固めたという。義務化をしないことによるパネルの放置、大量の不法投棄につながる懸念がある。「松江市再生可能エネルギー発電事業と地域との調和に関する条例」により、松江市としてパネルの放置、大量の不法投棄というような状況を防ぐことができるのか伺う。				
			(5) 松江カントリー跡地の発電事業においては、地元の法吉地区自治会連合会と事業者、そして松江市の三者間で協定書が締結されている。この度、法吉地区自治会連合会では、この協定書の締結を解除する方向で話を進めておられると聞いているが松江市はこのことを承知しているのか。締結を解除するその理由は何か、松江市はこのことについてどういった認識で、どのように対応するのか伺う。				
2	水郷祭について		(1) 速報によると、水郷祭の来場者数は69万人と、昨年より1万人多い過去最高であるという。来場者数が増え過去最高となった理由についての考え、また感想を伺う。				
			(2) 有料観覧席の購入状況から見て、来場者の内、有料観覧席で花火を見た方はおよそ何名くらいになるか。また購入者全体に占める県外や市外からの観光客の割合と、松江市内の方の割合はどのくらいになるのか。加えて、有料観覧席の購入は主に誰を想定しており、この結果は、有料観覧席を設けた意図から見てどう評価しているのか伺う。				
			(3) 昨年よりも1万人増えたということだが、前日、当日の松江市内の宿泊施設の稼働率はどのくらいか。それは松江市の宿泊者の適正規模に対してどのような状況であるのか伺う。あわせて、松江市として今後、県外、市外からの宿泊者を増やすことが可能かどうか伺う。				
			(4) これまで松江の花火は市民の方々の寄付と、地元企業の支援によって成り立っていた。しかし、地元企業の負担も大きいことから、持続可能な花火大会にするために有料観覧席を設けるということであったが、企業の負担は減ってきているのかどうか伺う。				

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	15	議員名	三島明	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
3	文化振興の拠点としてのプラバホールに向けて	(5) 西日本一の花火大会を目指していると聞いている。花火の数も1日に1万発と増え、また有料観覧席の数も増加した。ドローンショーも見ごたえがある立派なものである。年々規模拡大路線であるが、西日本一の花火大会を目指す目的と、今後、規模的にも、内容的にも、こういった水郷祭を目指しているのか伺う。 (1) 市立中央図書館について ア プラバホールは、音楽ホール、市立中央図書館ともリニューアルオープンをした。リニューアルした後の市立中央図書館の来館者数などの利用状況について、傾向として利用客が最も多い曜日や時間帯、逆に少ない曜日や時間帯はあるのか伺う。 イ 来館者数と貸出冊数は単純に比例するものではないと思うが、近年何か傾向のようなものが見受けられるのか伺う。 ウ 休館中は、イオンに市立図書館の機能の一部を設けたが、そういった取組や経験は現在プラバホールの運営にどのように活かされているのか伺う。 エ 子ども落語と図書館のコラボ、また8月のプラバ夏祭りでは音楽ホールで大型絵本による読み聞かせをしたと聞いたが、図書館の枠を超えた取組や音楽事業とのコラボレーションによる成果はどういったものがあり、今後の取組への展望について伺う。 オ これから図書館機能をより充実し、来館者により利用しやすい図書館にしていく上で、今現在課題となっていることは何か伺う。 (2) プラバホールについて ア これまでは松江音楽協会の指定管理であったが、リニューアルを機に、指定管理者をスポーツ文化振興財団に変え、新たな組織体制でスタートした。リニューアルからおおよそ1年半が経つが、現段階での新たな組織体制への手ごたえ、今後の意気込みについて伺う。 イ 竹内プロデューサーが着任してからも1年が経つ。竹内氏は1年間取り組まれ、現在どのような感想を持たれ、今こういったプラバホールを目指しておられるのか伺う。 ウ 市民の思いに応えていただく形で、オーバーホールされ残ったパイプオルガンである。リニューアル後の活用状況と今後の展望を伺う。					
4	堀川遊覧船による松江にしかないモノ体感	(1) 堀川遊覧船は本年7月で、運航を開始してから28年を迎えた。この夏、「こども落語」で怪談を聴きながらめぐる「堀川ゆうれい船」という新たな試みが行われた。噺家として大役を務めた子どもは文化の継承者として、また、船上で小泉八雲や怪談などの文化に触れた乗船客も文化の受け手として、この上ない体験・体感の場になったと思う。「堀川ゆうれい船」の様子と、あわせて双方の感想としてどういうものがあったのか伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	15	議員名	三島明	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月18日
		質問項目	質問要旨				
			(2) 堀川遊覧船の年間パスポートを使って就学前の子どもを乗せる方が増えているそうである。川面を通り抜ける風が頬に当たる感覚、水をかき分けて進むときの水の音、船頭や他の乗船客とのやりとり、こういった五感を通した経験は、松江にしかないモノであり、子どもたちにより良い影響を与えるものと思うが、子どもの体感の場として力を入れてはと思うが見解を伺う。				

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	16	議員名	中村ひかり	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
1	水源地の保護について	(1) 重要な水源を将来にわたって守り、安全で良質な水道水を提供するために必要なことは何か。市の見解を伺う。					
		(2) 島根県環境影響評価条例の概要を伺う。					
		(3) 水源地を保護するための条例制定が必要だと考えるが、島根県に対して申し入れをする考えはないか。市の見解を伺う。					
2	待機児童と人材確保について	(1) 保育施設					
		ア 保育施設における待機児童、兄弟別園は解消されているか。年齢やエリアの隔たりがあるのか現状を伺う。					
		イ 保育士の確保状況と併せて、保育士資格を保有しているが、保育施設では勤めていない「潜在保育士」がどれだけいるか現状を伺う。					
		ウ 潜在保育士の掘り起こしのため、保育士確保支援事業の拡充の必要性を感じるが、市の見解を伺う。					
		(2) 放課後児童クラブ					
		ア 児童クラブにおける待機児童は解消されているか。エリアの隔たりがあるのか現状を伺う。					
		イ 登録者の利用実態と夏季休業期間中等の開所支援について市の見解を伺う。					
		ウ 県事業を活用した人材確保支援をしてはいかがか伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	17	議員名	わたなべ良平	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
1	松江市の観光振興について	(1) バリアフリー観光について 松江市はMATSUE観光戦略プランの中で、バリアフリー観光の環境整備を行い、バリアフリーの観光地を目指すとしている。 ア バリアフリー観光地を目指す理由を伺う。 イ バリアフリー観光地を目指すにあたって、松江市の課題と、それを解決するためにどのような取り組みを行ってきたか伺う。 ウ 今後どのようなバリアフリー観光地を目指していくのか伺う。 (2) 「ばけばけ」について 9月29日よりNHK連続テレビ小説「ばけばけ」の放送が始まる。松江市では「小泉八雲・セツのドラマをイカしてバケる松江推進協議会」の中で、「これを一過性のもので終わらせることなく」、「小泉八雲・セツの精神・功績を後世に引き継いでいく」などの基本方針を掲げている。 ア 「ばけばけ」効果を一過性のもので終わらせないために、具体的にどのような取り組みを行っているのか。またその効果をどのように評価するのか伺う。 イ 後世に引き継いでいきたい「小泉八雲・セツの精神」とは具体的にどのようなものか伺う。 ウ 「小泉八雲・セツの精神」を学校教育で学習する機会は設けられているのか伺う。					
2	松江市の水道事業について	(1) 老朽水道管の漏水・破損について 今年1月の埼玉県八潮市の下水道管の破損による大規模な道路陥没事故以降、日本各地の老朽水道管の漏水・破損事故が多く報道されるようになった。松江市においても7月に美保関町、8月に黒田町で上水道管の漏水等による道路陥没事故が起こるなど、老朽インフラへの対応は松江市にとっても喫緊の課題である。 ア 松江市では老朽化した上下水道管の漏水・破損が年間でどの程度起きているのか伺う。 イ 水道管の漏水・破損に対する対応策について、実施状況とあわせて伺う。 ウ 水道管の耐震化の状況と今後の進め方について伺う。 (2) 水道工事の発注時期の平準化について 松江市は上下水道事業経営計画に従って水道事業を進めていると思うが、一部水道事業者から、早期発注をもう少し増やしてほしいとの指摘がある。 ア 過去3か年分の四半期ごとの発注件数と工事発注時期の平準化の取り組みについて伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	17	議員名	わたなべ良平	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月18日
		質問項目	質問要旨				
3		日常生活用具の給付について	(3) 水道料金の改定について 松江市公共料金に関する審議会は今年5月20日、水道料金を令和8年4月から平均約26%値上げする案が適当とする答申書を市長に提出した。 ア 料金改定に至った経緯について伺う。 イ 料金改定について、市民の理解を得るためにどのような取り組みが必要と考えるか伺う。 ウ 市民の理解を得るためには、学校教育において居住地域の水道事情について学ぶことも重要と考えるが、見解を伺う。 (1) 紙おむつ等給付の対象拡大について 日常生活用具の給付は、障がい者（児）が日常生活をより円滑におこなえるよう、障がいの種類や程度に応じて日常生活上の便宜を図るための用具を給付するものである。 ア 日常生活用具項目のうちの「紙おむつ等」について、松江市の給付要件と過去3年間の給付実績について伺う。 イ 紙おむつ等の給付対象を身体障がい者に限定せず、医師の判断による書面等を条件として知的障がい者等を含めたものに拡大するべきだと思いが、見解を伺う。				

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	18	議員名	岩田幸子	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
1	松江市の地震想定について	(1) 松江市として、能登半島地震の教訓をどのように分析され、被害想定をどのようにされているのか伺う。そして防災計画に反映されているのか伺う。					
2	防災備蓄について	(1) 松江市は、橋北と橋南に分かれる地域特性があるが、現在の備蓄はどのくらいの量がどこにあり、何があるのか伺う。また各地域で孤立が生じた場合に、必要な物資をどのように届ける体制になっているのか伺う。					
3	災害廃棄物処理について	(1) 能登半島地震では倒壊家屋を中心に、能登の年間のごみ量の7年分である300万トンもの大量の災害廃棄物が発生し、処理が大きな問題となった。復興の一番は、ごみの処理から始まると言われている。松江市においても不法投棄が起きないように同様の災害が発生した場合には、災害廃棄物の仮置き場の確保や、地域連携による処理体制の整備が求められると思うが、その準備はどのように進められているのか伺う。					
4	支所の役割について	(1) 地域に最も近い行政機関である支所は、災害時において極めて重要な役割を担う。特に交通網が遮断され本庁から遠い地区が孤立した場合、支所が迅速な初動対応をし、自立的に避難所運営や物資管理を担うことが求められると考える。市として、支所の機能強化や職員研修の充実にどのように取り組んでいるのか伺う。					
5	迅速な避難指示について	(1) 災害時には、いかに早く確実に住民に避難を呼びかけられるかが人的被害を減らす鍵になる。松江市は現在どのような体制になっているのか伺う。そして、住民一人一人に確実に情報を届けるための体制をどのように整備・強化していくのか伺う。					
6	8の字ルートについて	(1) 現在、中海・宍道湖圏域を8の字として米子市、境港市、松江市、出雲市、安来市を繋ぐ8の字ルートの構想があるが、この道路網は完成すれば大きな効果が期待できると思う。一つは、松江城・出雲大社・美保関・境港などの山陰を代表する観光地を円滑に繋ぐことで、周遊性が高まり、観光客の滞在時間延長や地域経済への波及効果が期待される。 もう一つは、防災・減災の面からも、とても重要な道路である。現在、島根半島には道路が一本しかない地区もあり、台風や大雨による土砂崩れや倒木で通行止めとなり、集落が孤立する事例もある。 松江市の8の字ルート整備は、国の方針と合致し、観光と防災の両立による地域利益をもたらすものである。その為松江市では、国や県に強く働き掛けて、一刻も早く、早期に整備されるように取り組むべきではないかと考えるが、松江市の取り組み状況を伺う。また、国や県がどのような整備計画になっているのか、現在の状況を伺う。					
7	災害体験型教育について	(1) 現代のこどもたちは日常生活の中で携帯電話などに頼る傾向が強く、災害時に充電切れや水没などで使えなくなった場合、自力で生き延びる手段を身につけておくことが重要である。そこで、災害時に必要な基本的な生存技術を実際に体験を通じて学ぶ災害体験型教育が有効と考える。 松江市においても、こどもたちが火を起こしたり、飲料水を確保したりする基本的なサバイバル技術を、安全に体験学習できる教育プログラムを取り入れるべきと考えるが、いかがか。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	18	議員名	岩田幸子	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月18日
		質問項目	質問要旨				
8	松江市の防災・減災に対しての意識について		(1) 能登半島地震で私たちが学んだことは、明日は我が身であるという現実である。島根半島も同じリスクを抱えており、松江市が直面するのは決して遠い話ではない。だからこそ、今備えることが何よりも大切である。いざという時、松江市は必ず市民を守ってくれると信じられる体制を築くことこそ、市長の最も大切な使命である。先頭に立ち、市民の命と暮らしを守る防災行政を一層力強く推し進めていただきたいと強く考えるが、市長の所見を伺う。				

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	19	議員名	津森良治	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
1	だれもがいいきと自分らしく快適に暮らし働くことが出来る地域社会の構築を目指して						(1) 新たな人権問題の把握とその解消への取組や、市長が目指しておられる本市の地域社会づくりのためにも、今、人権を尊重するまちづくり宣言や条例の制定についても検討する時期ではないかと考える。まずは、人権団体をはじめ、幅広い市民を巻き込んで、その必要性の有無を含め、議論できる環境(テーブル)を造るべきと考えるが所見を伺う。 (2) 外国人は日本人と同じ生活者であり地域住民であるとする考え方、多文化共生の根幹となる基本法の制定について所見を伺う。
2	公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～						(1) 丙午、60年ぶりに来年、令和8年(2026年)、この年に該当する。この迷信について何か対策・対応はあるか伺う。 (2) 学校規模の適正化の基準と比較して、本市の公立小・中学校・義務教育学校は、どのような状況にあるとお考えか、その現状認識を伺う。 (3) 今後、本市において学校統合の適否を検討されるお考えはあるのか伺う。 (4) 本市では想定以上に少子化が進んでいるのではないかと、そう考えると将来を担うこどもたちの為にも、早めの取組を行っていただきたいものとお考えるが所見を伺う。
3	松江ナンバープレートの実現に向けて						(1) 国土交通省は、図柄入りナンバープレート等に関する検討会を創設して、図柄ナンバープレート、ご当地ナンバー等に係る課題や今後の方向性について議論を行い、今年5月に検討会での中間とりまとめが公表された。その中には、単独市区町村の図柄ナンバー(地方版)導入に伴うご当地ナンバー導入に係る要件が登録車保有台数を7万台、又は、登録車プラス軽自動車保有台数を12万台へと緩和することが盛り込まれている。この基準であれば、本市において、松江ナンバーの実現が可能であると思う。是非とも取組んでいただきたいが所見を伺う。 (2) 本市が導入に向けて取組んでいくとすればどのような課題があり、図柄の決定、交付開始はいつごろになるのか伺う。
4	市長の要請で「緊急銃猟」が可能に(改正鳥獣保護管理法について)						(1) 改正鳥獣保護管理法への本市の受け止めと、市長が緊急銃猟を要請する際、また緊急銃猟を実施した場合、どのような問題や課題があるとお考えか伺う。 (2) 人の日常生活圏域に侵入した鳥獣(有害鳥獣)への対策や、農作物への被害防止対策として、本市においても数々の取組がなされている。その中で、狩猟や捕獲による、その個体の最終処理・処分について、現在、本市ではどのような取組がなされ、最終処理・処分を行っていく上で、どのような課題や問題が生じているのか伺う。

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	20	議員名	舟木一真	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
1	国際文化観光都市に指定されている松江市において、古典日本髪という伝統を生かした取組みについて	(1) 現在は民間が主体となって企画・運営を行っているが、周知や集客にはどうしても限界があり、官民が連携して大規模かつ継続的に発信していくことが、文化の継承と浸透に不可欠ではないか伺う。 (2) 貴重な文化資源を守り、未来へと確実に継承していくためにも、行政として一定の支援や仕組みづくりを検討すべきではないか伺う。 (3) 「江戸文化の息吹を今に残すまち・松江」として積極的に発信していくことが、本市の魅力向上と観光振興につながるものと個人的に考えるが、本市の考えを伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	21	議員名	樋野伸一	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
1	松江市のフードバンク並びに子ども食堂の現状と利用するその背景について	(1) フードバンクしまねあったか元気便の利用実態は2018年度延べ84件から2024年度は2,231件に増加し約25倍に増えています。 松江市として更なる食料品や米、支援金等直接支援を行うことを求めますが所見を伺います。 (2) 利用されるご家庭の実態について。 フードバンクあったか元気便の調査結果や島根県こどもの生活に関する実態調査のデータから見えているのは、利用世帯の生活苦です。県の実態調査では「生活困難」の定義を、①低所得、②家計の逼迫、③子供の体験や所有物の欠如、この3つの要素のうち2つ以上の要素に該当を生活困窮層。1つに該当を周辺層とし、いずれにも該当しない層を非生活困難層と分類しています。 小中高生全体で生活困窮層は約20%、前回調査時(R1)14%から増加し生徒5人に1人が生活困窮層となります。ひとり親世帯で見ると約53%が生活困窮層と高い数字となっています。松江市においても県の調査結果に準じていると考えます。 ア 教育現場で生活困窮層の児童生徒が教材等で困らないよう配慮されているのか伺います。 イ 子供の成長過程で様々な体験をさせる事で子供の人生に良い影響を与える事がわかっています。松江市は健全育成の観点から子供が多く体験が出来るよう春休み、夏休み、冬休みには全生徒対象の体験型の取り組みを実施要望します。所見を伺います。 ウ フードバンクあったか元気便調査に生活困難層のひとり親世帯で親の受診抑制が見られます。 松江市は生計困難者含め広く市民に無料低額診療事業をお知らせするようにすべきです。所見を伺います。 エ この秋は中学3年生、高校3年生にとって進路を決める重要な時期です。経済的理由で進学を諦める事の無いよう寄り添った支援を求めます。所見を伺います。 オ 島根県の調査では不登校の児童生徒数は増加傾向にあります。不登校児童のフリースクール利用助成を行うよう求めますが所見を伺います。 カ 昨今の物価高や米の異常高騰で子ども食堂の運営は厳しい状況です。このため、現物給付や支援金の支給を求めますが所見を伺います。 キ 「就学援助制度」について伺います。 ①援助を希望する全ての家庭が援助を受けられるよう改善を求めます。所見を伺います。 ②邑南町では保護認定基準の0.3以上1.3以下、1.3以上1.4以下、1.4以上1.5以下でそれぞれの準生活困難世帯への支援がなされています。松江市も同様に保護認定基準1.5倍以下の世帯への援助を行うよう求めます。所見を伺います。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	21	議員名	樋野伸一	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月18日
		質問項目	質問要旨				
2		国民健康保険料未納者への差し押さえについて	(1) 国民健康保険料未納世帯への差し押さえの実態について質問いたします。松江市ではR6年6月資料では1975世帯が滞納しています。滞納世帯の保険料差し押さえはR5年度477件、2222万9208円あります。県全体では938件、約3320万円。松江市は件数で5割、金額で約7割を占めています。 ア 松江市のR6年度の差し押さえの件数、金額を伺います。 イ 差し押さえられた低所得世帯の場合、困窮する可能性があります但注視されているのか伺います。 ウ この様な低所得世帯への差し押さえは困窮、貧困に陥ります。差し押さえは中止すべきですが所見を伺います。				
3		島根原発について	(1) 昨年1月の能登半島地震では、志賀原発から30km圏内の21の放射線防護施設の内14施設が損傷しました。断水は21施設と全ての施設が断水しました。島根原発30km圏内に現在19の放射線防護施設があります。原発30km圏内において、陽圧装置を希望する施設への設置を求めます。所見を伺います。 (2) 危険な人類と共存できない島根原発は廃炉にすべきだと考えます。所見を伺います。				

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	22	議員名	佐野みどり	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
1	まちづくりの土台として地域公共交通に積極的な支援強化を	(1) 松江市が策定した「地域公共交通計画」では、「公共交通は、暮らしやすく魅力あふれるまちをつくり、人の流れを創出し、観光客や交流人口の増加を図るために必要な、まちづくりの土台」と位置づけられている。「交通権」は人権。市民の「交通権」を保障し、「市民が暮らしやすく出かけたくなるまちづくり」を目指すためには、公共交通の維持、強化に対する行政の積極的な取り組みが、強く求められている。 ア タクシー不足と日本版ライドシェア導入について。 全国的に「地域交通の担い手や移動の足不足」を口実に日本版ライドシェアが導入されている。一方で、利用者の安全確保やドライバーの労働環境などの問題点も指摘されている。松江市の日本版ライドシェアも3月の実証実験を経て、その後本格導入を目指すと言われているが、ライドシェアの安全性に対する懸念は払しょくされていないと考える。タクシー不足解消、運転手の確保のためには、まずタクシードライバーの処遇改善が必要と考えるが、所見を伺う。 イ 松江市営バスと一畑バスの共同運行にあたり、ゾーン制運賃の導入や一部コミュニティバスの延伸・変更なども計画されている。市民のみなさんへの説明や周知はどのようにされているか伺う。 AIデマンドバスやコミュニティバスは、引き続き利用者の声を受けて改善につなげていただきたい。利用者の意見を聞く場を、どのように設けられているか伺う。併せて、バスを通院の足として利用される方に対し、バスダイヤ等で特に留意された点を伺う。 ウ クロスセクター効果をどのようにとらえられているか見解を伺う。					
2	ため池問題について	(1) 松江市にはため池が1,006か所、防災重点ため池が265か所ある。近年、コメの生産減と農業従事者の高齢化のため、中山間地の農業は衰退し、ため池の管理体制や役割が変化してきているのが現状である。特に荒廃が進んだため池問題は、地域住民の大きな心配の一つとなっている。 「子供たちの水難事故を心配して、手作りの看板や棒をたてている」、「農業者の減少や高齢化によりため池周辺の草刈りも大きな負担になっている」、「山林火災などの消防の水資源など、ため池を地域の社会インフラととらえ改修費用の補助を増やしてもらえないか」など、多くの要望が上がっている。 ア ため池調査の優先度判定はどのような基準で行われているか、その中に、周辺住民の安全性などが加味されているか伺う。 イ ため池調査に際しては、周辺住民の不安の声を取り入れたものになっているか伺う。 ウ ため池調査の結果を地域へ知らせ、住民との情報共有をすることは大変重要となる。情報共有をどのようにされているか伺う。 エ 人命第一の安全面から考慮すると、大規模改修はすぐに無理でも、地域の人たちが特に危険と感ずるため池に関しては、早急に看板や安全対策を行うことは必要と思われるが、見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	22	議員名	佐野みどり	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
3	原発稼働停止を求める	(1) 島根原発2号機再稼働から9か月が経過した。医療介護福祉現場では、慢性的な人手不足のため、長時間過密労働が続いている。この状況下で、原発事故あるいは自然災害との複合災害が起これば、災害による傷病者への十分な対応ができないだけでなく、入院患者の命と安全が脅かされる事態となることは容易に想像できる。救われるべき多くの生命が失われる事態になりかねない。災害対応を考慮するなら、医療従事者やケア労働者の増員と労働環境改善は必須である。松江赤十字病院でのBCP策定に関する会議も6月に始まったばかりで、2026年度中の策定を目指すとのこと。本来なら、原発再稼働以前に確立すべきものではなかったか。 ア 原発稼働に不安を持つ市民や医療従事者の声を丁寧を受け止め、不安の軽減に努めることがまず必要と考えるが、所見を伺う。 イ 市民の命と暮らしを守る立場に立つならば、原発稼働を中止すべきと思うが、所見を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	23	議員名	吉岡麻美	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月18日
質問項目		質問要旨					
1	松江市における穴道町の在り方について	(1) 新松江市合併から20年経ったが、中山間地域では人口減少や、耕作放棄地が増加し続けている。松江市は今後、どのようにして穴道都市計画の目的を達成されるお考えか、松江市における穴道町の在り方について見解を伺う。					
2	全天候型の遊び場について	(1) 就学前のこどもたちの全天候型の遊び場は少しずつ拡充してきているが、小学生以上の児童向けの全天候型の遊び場がまだまだ少ない。官民連携でのこどもの遊び場づくりをしてはどうか、市の見解を伺う。					
3	松江水郷祭について	(1) コロナ禍明けから有料席での実証実験が始まり、今年も有料席を増やしたが、昨年の収支と比べて今年の収支がどうだったか伺う。 (2) 花火開始約30分前の観客席において、穴道湖側の有料席はガラガラの状態であったが、観客席に対する名称や周知方法、販売方法に問題はなかったのか伺う。 (3) 今年は市民の声をどのように反映したのか伺う。また今回のようなご意見についてどのように考えているか所見を伺う。					